

March 6, 2020

【前日の為替概況】米 10 年債 0.8976% でドル全面安、対円 105.97 円、対ユーロ 1.1245 ドル

5日のニューヨーク外国為替市場でドル円は急反落。終値は106.16円と前営業日NY終値(107.53円)と比べて1円37銭程度のドル安水準。米国内でも新型コロナウイルスの感染者数が増え、企業が国内外の出張を禁止するなど人やモノの移動を制限する動きが広がっている。米景気悪化懸念からダウ平均が一時1100ドル超下落すると、リスク回避目的の円買い・ドル売りが優勢となり、一時105.97円と昨年9月4日以来約半年ぶりの安値を付けた。米10年債利回りが一時0.8976%まで低下し、過去最低水準を付けたことも相場の重し。日経平均先物は前営業日終値比630円安の2万0740円まで売られた。

米カリフォルニア州のニューサム知事は感染者1人の死亡を受けて非常事態を宣言したほか、ワシントン州では死者数が2桁に達し、ニューヨーク州では感染者数が22人に増え、一晩で倍増した。

ユーロドルは反発。終値は1.1237ドルと前営業日NY終値(1.1136ドル)と比べて0.0101ドル程度のユーロ高水準だった。「米連邦準備理事会(FRB)が17-18日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で追加利下げをする」との観測が高まる中、ユーロ買い・ドル売りが優勢となり一時1.1245ドルと昨年8月6日以来約7カ月ぶり高値を付けた。市場では「欧州中央銀行(ECB)がFRBに追随するという憶測が広がっているものの、政策金利の面ではECBの行動の余地が少ないため実現の公算は小さい」との声も聞かれた。

主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時96.52と1月6日以来の低水準を付けた。

ユーロ円は反落。終値は119.31円と前営業日NY終値(119.75円)と比べて44銭程度のユーロ安水準。ユーロドルの上昇につれた買いが入り22時前に119.76円付近まで上げたものの、ドル円や米国株の下落に伴う売りが強まると一時119.00円と日通し安値を付けた。

ユーロ円以外のクロス円も軟調だった。ポンド円は一時137.38円、豪ドル円は69.95円、NZドル円は66.78円、カナダドル円は78.97円、南アフリカランド円は6.78円、トルコリラ円は17.32円、メキシコペソ円は5.32円まで値を下げた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、FRB高官の発言から追加利下げ観測を見極める展開か

本日の東京市場のドル円は、NY株式市場の大幅下落(ダウ平均-969.58ドル)や17-18日の米連邦公開市場委員会(FOMC)での追加利下げ観測(0.25%・0.50%)から続落が予想される。

3月3日、米連邦準備理事会(FRB)は、緊急FOMCを開催して0.50%の緊急利下げ(FF金利誘導目標:1.50-75%⇒1.00-25%)を断行したが、17-18日の定例FOMCでも追加利下げが予想されており、0.25%下げが確率100%、0.50%下げが確率70%程度と予想されている。ハト派のブラッド・ミケルソン連銀総裁は、追加利下げが決定されるとの市場の想定は間違っている、と牽制している。本日は、8時30分からカプラン・ミケルソン連銀総裁、10時からカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、10時45分からウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁の講演が予定されており、追加利下げ観測に対する見解を見極めることになる。

追加利下げが示唆された場合はドル売り、否定された場合はドル買いで反応すると思われるが、言及されなかった場合は、今夜発表される米2月雇用統計を控えて動きづらい展開が予想される。

FRBの0.50%の緊急利下げに関しては、0.25%が新型コロナウイルス対策、0.25%が昨秋同様の流動性への対応策との説もあり、現在の「Q4ではない」と強調されている「量的緩和の派生措置」としての月額600億ドルの財務省短期証券(Tビル)購入が、量的金融緩和第4弾(QE4)に昇格する可能性が警戒されており、今後のFRB高官の発言に要警戒となる。もし、QE4が正式に発動された場合、ドル円は100円割れの可能性が高まることになる。

米2月雇用統計の調査対象週の2月12日週(2月9-15日)の新規失業保険申請件数は21.9万件、失業保険受給者数は172.4万人だった。2月米ISM製造業の雇用指数は46.9と1月の46.6から改善、非製造業の雇用指数は55.6と1月の53.1から改善、ADP全米雇用報告は前月比+18.3万人と1月の+20.9万人から悪化している。非農業部門雇用者数の市場予想は前月比+17.5万人(最小+14.0万人~最大+24.9万人)と1月の前月比+22.5万人からの増加幅減少が見込まれている。2月12日週の米国での新型コロナウイルス「COVID-19」感染拡大前の数字であることで、ポジティブサプライズでも相場への影響は限定的だと思われる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:30 ◇ 1月家計調査（消費支出、予想：前年比▲4.0%）
- 08:30 ◇ 1月毎月勤労統計（現金給与総額、予想：前年比0.2%）
- 08:50 ◇ 2月外貨準備高
- 14:00 ◇ 1月景気動向指数速報値（予想：先行91.1／一致94.5）

<海外>

- 08:30 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演
- 09:30 ◇ 1月豪小売売上高（予想：前月比横ばい）
- 10:00 ◎ カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁、講演
- 10:45 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演
- 16:00 ◎ 1月独製造業新規受注（予想：前月比1.4%／前年同月比▲5.2%）
- 16:45 ◇ 1月仏貿易収支（予想：48.03億ユーロの赤字）
- 16:45 ◇ 1月仏経常収支
- 22:00 ◎ 2月ロシア消費者物価指数（CPI）速報値（予想：前月比0.3%）
- 22:30 ☆ 2月カナダ雇用統計（予想：新規雇用者数変化1.00万人／失業率5.6%）
- 22:30 ◇ 1月カナダ貿易収支（予想：8.3億カナダドルの赤字）
- 22:30 ◎ 1月米貿易収支（予想：461億ドルの赤字）
- 22:30 ☆ 2月米雇用統計（予想：非農業部門雇用者数変化17.5万人／失業率3.6%／平均時給、前月比0.3%／前年比3.0%）
- 23:20 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、マスター米クリーブランド連銀総裁、講演
- 24:00 ◇ 2月カナダIvey購買部協会景気指数
- 24:00 ◇ 1月米卸売上高
- 24:00 ◇ 1月米卸売在庫（予想：前月比▲0.2%）
- 7日 01:20 ◎ ブラード米セントルイス連銀総裁、講演
- 7日 04:00 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、ローゼングレン米ボストン連銀総裁、講演
- 7日 05:00 ◇ 1月米消費者信用残高（予想：165億ドル）
- 7日 05:30 ◎ ジョージ米カンザスシティ連銀総裁、講演
- OPECと非加盟産油国の閣僚級会合（ウィーン）
- 8日 米国が夏時間に移行

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

5 日 07:43 ブラド米セントルイス連銀総裁
「新型コロナウイルスを巡る状況は引き続き不安定」
「今年前半の世界経済は打撃を受けるだろう」

5 日 19:50 ジョンソン英首相
「英国経済は強い」
「コロナウイルスが蔓延している間はしっかりとビジネスを支援する」

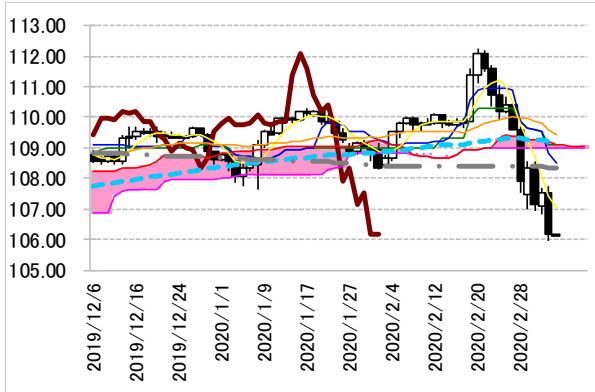
5 日 21:29 ギリシャ保健相
「来週はコロナウイルスの著しい発症増加を予測」
「新たに 21 人の感染を確認」

5 日 21:31 バルニエ英 EU 離脱・欧州委員会首席交渉官
「英国と多くの深刻な相違点がある」
「移行期間の終わりの難しさを過小評価している」

6 日 03:44 ポロズ・カナダ銀行(中央銀行、BOC)総裁
「新型コロナウイルスは迅速かつ決定的な行動を必要とする」
「金融政策は供給の混乱を修正できない」
「G7 では高度な調整を毎日協議」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

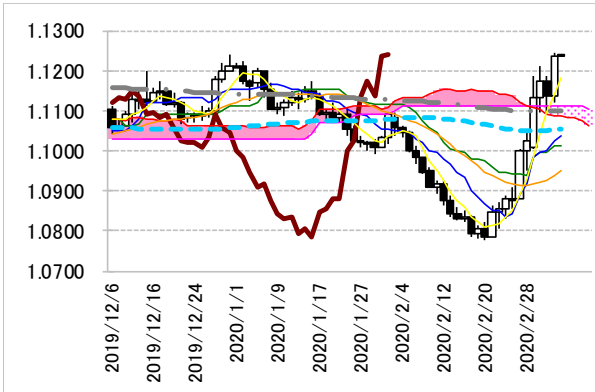


<ドル円=3/4 安値を抵抗に戻り売りスタンス>

大陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。毛抜き天井（112.23円・112.19円）から陰線新安値7手で下落しており、下落トレンド継続の可能性が示唆されている。

本日は、3月4日の安値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|----------|----------------------|
| レジスタンス 2 | 108.35(200日移動平均線) |
| レジスタンス 1 | 106.85(3/4 安値) |
| 前日終値 | 106.16 |
| サポート 1 | 105.26(2019/8/23 安値) |
| サポート 2 | 104.46(2019/8/26 安値) |

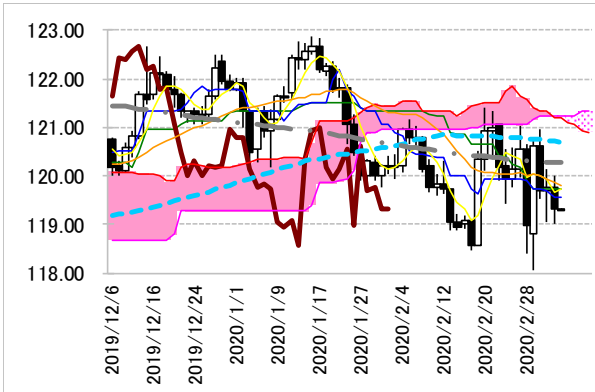


<ユーロドル=雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

大陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。2017年4月の窓（1.0738ドル・1.0821ドル）を埋められず陽線新高値8手で上昇しており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|----------|-------------------------|
| レジスタンス 1 | 1.1328(3/3-4の下落幅の上方倍返し) |
| 前日終値 | 1.1237 |
| サポート 1 | 1.1110(日足一目均衡表・雲の上限) |

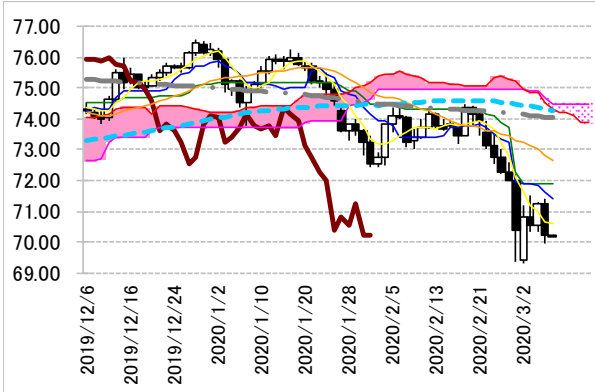


<ユーロ円=基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、3手でも3月2日の大陽線を下抜けていないことで、反発の可能性が示唆されており要警戒か。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|----------|---------------------|
| レジスタンス 1 | 119.74(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 119.31 |
| サポート 1 | 118.07(3/2 安値) |



<豪ドル円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。抱き線で続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|----------|--------------------|
| レジスタンス 1 | 71.41(日足一目均衡表・転換線) |
| 前日終値 | 70.21 |
| サポート 1 | 69.33(3/2 安値) |

